

かめだより

発行：医療法人鉄蕉会 亀田総合病院/地域医療支援部・地域医療連携室
発行責任者：亀田俊明 編集責任者：蔵本浩一

〒296-8602 千葉県鴨川市東町929

TEL：04-7099-1261(内線7156)

index

P2 … 地域医療を担う専門性を活かした
質の高い医療・介護の紹介

(シリーズ4：呼吸器内科チームでの特定行為
看護師)

PICCチーム 優秀賞

P3 … スポーツ医学科「自費診療外来」
のご紹介

P4 … 地域医療機関さまより

P5 … 当院診療科より

P6 … 乳腺科より
(ロボット支援下乳房手術)

P7 … スタッフひろば

P8 … トピックス
勉強会情報

〔04〕 呼吸器内科チームでの特定行為看護師

高度臨床専門職センター 吉田 千尋

1. 呼吸器内科チームでの特定行為看護師の活動

呼吸器内科の患者さまを、外来、検査、病棟と横断的に関わり看護をしています。また、呼吸器の患者さまに関連する医師と看護師、検査技師などのチーム医療の中で、治療がスムーズに受けられるように調整する役割をしています。

①外来での看護

主に喘息の患者さまの自己注射の指導や非結核性抗酸菌症の患者さまの吸入指導をしています。慢性疾患は、セルフケアが重要であるため、その人の生活背景を理解し、注射や吸入の方法だけではなく、治療に対する心配事や医療費についての相談対応をしています。

②病棟での看護

チームで患者さまの回診をして治療方針を確認しています。不安や困ったことがないかなど声をかけ、抗がん剤治療の点滴を確認したり、処置の介助を行ったりします。

③検査室

気管支鏡検査では、患者さまが安心して検査を受けられるように、不安なことなどがないか話を聞き、

検査の説明を行います。検査中は、検査の介助、バイタルサインの観察などを行います。

④特定行為看護師として

特定行為研修を修了し、特定行為看護師として、医師の手順書に基づき動脈からの採血や胸腔ドレーンの抜去などを行い、医師とディスカッションしながら治療をタイムリーに行い、苦痛を最小限にできる看護を心がけています。

2. 今後の展望

現在、外来、検査、病棟と横断的に活動している一方で、患者さまとゆっくり関わる時間を十分確保できていない部分があります。上記以外でも、患者さまが気軽に病気や治療、生活などあらゆることを相談できる看護師でありたいと思っています。患者さまの思いを聴いて、一緒に解決したり前向きに治療に取り組んでいただけたりするような関わりをできるように相談窓口を設けたりと広報活動をしていきたいと思っています。一番大切なことは、患者さまの声なので、その声に応える看護を提供していきたいと考えます。



当院の特定行為研修修了生を中心としたPICCチーム

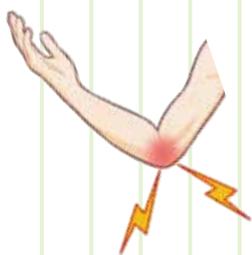
高度臨床専門職センター 飯塚 裕美

2020年10月に特定行為研修修了者6名を中心として発足したPICCチームの取り組みが、この度、公益社団法人日本看護協会が主催する「看護業務の効率化先進事例アワード2022」の「タスク・シフト/シェア、他職種連携部門」の優秀賞を受賞しました。

PICCとは、Peripherally Inserted Central Venous Catheter (末梢挿入型中心静脈カテーテル)の略語で、腕から挿入する中心静脈カテーテルのことです。血管の確保が困難な場合や食事がとれず点滴で栄養を補う必要がある場合、抗がん剤や高カロリー輸液などの血管刺激の強い薬剤などを投与する場合に選択されます。内頸静脈、鎖骨下静脈、大腿静脈からの中心静脈カテーテル挿入と比較して、患者さまへの侵襲が少なく、比較的簡単に挿入でき、挿入後の感染などのリスクも少ないのが特徴とされます。2015年に特定行為として認められ

ています。PICCチームの発足により2019年度は62件だった挿入件数が、2021年には589件まで増加しました。PICCチームの実践は、特定行為研修修了者による安心・安全でタイムリーなPICC挿入と、PICC挿入後のアフターケアを行っています。患者さまからは、穿刺回数削減やアフターケアにより、「針で刺される回数がいづ減って楽になった。」「見に来てもらえると安心するね。」といった声が聞かれています。





メディカルレポート

スポーツ医学科「自費診療外来」のご紹介

スポーツ医学科 大内 洋

関節の痛み、腱の付着部の痛みに対する多血小板血漿(PRP)治療

人体に傷ができた際には、血液中の血小板から供給される成長因子が傷んだ組織を元通りに直そうとする自己治癒機転がはたらきます。このため出血しづらい組織である関節軟骨や腱では損傷しても修復しづらいことがわかっています。

PRP療法では自分の血液を約15ml採取し、遠心分離することで血液中の血小板、成長因子が多く含まれる層を抽出し、損傷組織に注射することにより同部の修復を促進したり、炎症を抑えることで疼痛が軽減できる治療です。



この治療を医療機関が実施するためには「再生医療等の安全性の確保等に関する法律(再生医療等安全性確保法)」に規定された施設認定をとる必要があります。当院では変形性関節症などに対するPRP関節内投与(第2種再生医療提供)と、腱付着部症(アキレス腱付着部症、ジャンパー膝、テニス肘など)へのPRP関節外投与(第3種再生医療提供)のいずれも実施できます。

<変形性関節症治療>

変形性膝関節症をはじめとした荷重関節での変形性変化はこれまでは物理的な力によって関節軟骨が損傷すると理解されていましたが、近年、こういった機序以外にも炎症性サイトカイン、軟骨分解酵素、ケモカインが軟骨損傷を増悪させるということがわかってき

ました。PRPにはこのような組織破壊(異化)作用を抑え、逆に組織修復(同化)に働く抗炎症性サイトカインや組織破壊阻害因子、基質となるたんぱく質が多く含まれており、これらが総合的に軟骨損傷予防、抗炎症に働くとされています。

<腱付着部症>

腱付着部症に対するPRPの治療効果についても近年様々な研究結果が出てきています。PRPを注入するための針の刺入によって変性組織において出血をきたし、炎症反応を経て組織修復が促されるという作用機序のみならず、血小板由来成長因子によってコラーゲンといった細胞外基質が産生され、また腱細胞の分化増殖が促進するとされています。

以上のようにPRP注射は非常に大きな可能性を秘めており、特に手術を回避したい、そして保存的に治療したい、とご希望される患者さまにとってメリットのある治療法であると考えています。

亀田クリニックのスポーツ医学科では火曜日に「自費診療外来(担当大内)」を行っています。ここではPRP治療をはじめ、脂肪由来幹細胞治療、体外衝撃波治療といったさまざまな最先端の自費の整形外科治療を実施しています。

患者さまに適応があるか不明な場合、また患者さまをご紹介いただける場合は下記まで連絡をくださいますよう、よろしくお願いいたします。

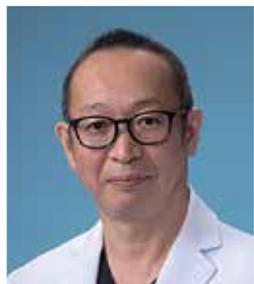
亀田クリニック予約センター 04-7099-1111
 スポーツ医学科：担当(大内)
 ohuchi.hiroshi@kameda.jp

地域医療機関さまより



在宅診療おうちクリニック

院長 重山 勇



▲院長 重山 勇



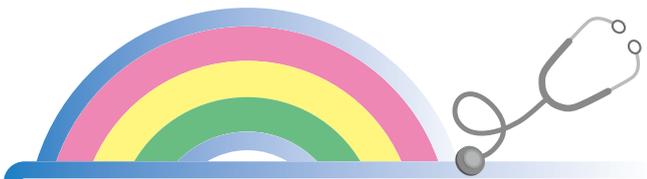
▲在宅診療

こんにちは、在宅診療おうちクリニックです。当院は、在宅療養支援診療所として、木更津駅東口徒歩圏内に2023年2月1日に開設致しました。在宅診療に特化したクリニックとして、医師と看護師が定期的に訪問、診療を行います。夜間・休日など24時間365日対応できる体制となっております。おうちや施設で療養を希望される方・入院、通院が困難な方・自宅で医療処置が必要な方・おうちで緩和ケアを希望される方を対象としています。訪問エリアは木更津市・袖ケ浦市・君津市と市原市の一部、診療所から半径16km圏内です。千葉県は全国的にも、人口あたりの病床数が少ない県です。特に、君津医療圏の10万人あたりの病床数は、全国平均をはるかに下回っており、急を要さない病態の入院が困難であったり、遠方の病院に入院せざるを得ない状況などがあります。2015年以前、君津医療圏

には在宅療養支援診療所は皆無で、訪問看護ステーション数も非常に少ない状況でしたが、昨今、在宅診療の需要は高まり、患者さんや病院の医療従事者、介護ケア従事者からも認知され、地域の皆様と協力しながら多様なニーズに対応しております。

私自身は、医学部卒業後、大学病院とその関連病院にて、消化器内科医として主に消化器悪性腫瘍の治療に携わってきました。大学病院でまず教わったことは、「内科医は頭のとっぺんから足のつま先まで診なくてはならない」ということでした。専門は消化器内科でしたが、石川県の地方病院で内科医としても従事し、在宅診療を経験したのをきっかけに在宅診療に興味をもちました。2012年に、東京都で在宅診療を学び、2013年より、君津医療圏で約10年間在宅診療に携わってきました。病院にあるレントゲンやCTはなく、ベッドサイドで、まさに「頭のとっぺんから足のつま先まで診る」初心に戻ったような医療を実践してきました。おうちでのお看取りも数多く経験してきました。悪性腫瘍末期で病院入院中に、どうしてもおうちに帰りたいと言って、急遽退院となり、退院数日後に自宅でお看取りとなった患者さんがいました。祖父、父、妻も自宅で亡くなっており、そのお宅の庭には先祖代々のお墓があり、墓守として、なんとしても最期はおうちに帰りたかったようです。また、最期は病院でと考えているけど、動けるうちはおうちに帰りたいというケースもありました。頻回に通院することは困難なことから、専門科への外来通院と在宅診療を併用し、病院と当院で連携しながら一人の患者さんを診ていくということもあります。様々な患者さんとそのご家族との出会いを経験したことから、当院では在宅緩和ケアも積極的に取り組んでいきたいと思っており、おうちに帰りたいという様々なケースに対応致します。

患者さんのこれまでの生き方や、これからの生き方にじっくり向き合い、患者さんがおうちや住み慣れた場所で過ごせるよう、地域の病院、介護ケアの方々と連携しながら、患者さんの生き方そのものを支える医療を目指しています。



当院診療科より

消化器外科
主任部長 草薙 洋



消化器外科は胃や大腸や肝臓などの病気の手術治療を主たる業務として行っています。実際にはすべての疾患が手術になるわけではなく、状況によっては手術になる可能性のある疾患も診療しています。例えば腹痛



で救急外来を受診しました。調べてみると腸閉塞でした。腸閉塞で実際に手術になるのは3割程度です。あるいは急性虫垂炎で入院、これも手術をしないで“薬で散らす”場合もあります。このような方々も当科で担当しています。したがって入院で概ね50~60人の方を担当しています。

当科は①食道・胃疾患を扱う上部消化管領域、②大腸疾患を扱う下部消化管領域、③肝臓、胆嚢、膵臓疾患を扱う肝胆膵領域、④痔や直腸脱などを扱う肛門領域の4つに分かれてそれぞれ十分経験を積んだ専門医のもとで診療を行っています。

手術日は月曜から金曜で2022年の年間手術件数は1,518件でした。私が当科に赴任した25年前の手術件数は年間750例程度でしたので、ほぼ倍増しています。これには様々な要因がありますが、最も大きな要因は24時間恒常的に消化器外科の手術を行う施設が、この地域すなわち安房郡市、隣の夷隅郡市で当科のみになっ

たためと思われま

たためと思われま

ここからは緊急手術からみた地域の現状の話にお付き合い下さい。救急車などで当院を受診し、一両日中に手術をするという緊急手術はこの3年間で550件でした。ほぼ2日に1回の割合です。通常手術の中での緊急手術の割合を見てみると60、70、80、90歳代でそれぞれ10%、15%、23%、40%と高齢になるほど緊急手術のリスクが高まることがわかりました。この中の75歳以上後期高齢者の緊急手術216件について詳しく調べてみました。56%の方が手術の際になんらかの重篤な障害(ASA-PS3以上)を有していました。ではこのような手術をいつやるのか？平日日勤帯内に手術が完結したのは13%に過ぎず、深夜帯や休日に行う、またはずれ込むものが54%でした。勿論外科医は手術室から出たら、即帰宅というわけには参りません。在院日数を調べると1週間以内は25%でした。その一方で1か月以上の入院が22%でした。家庭環境も調べてみました。11%の方が施設などに入居中でしたが、56%が独居ないしは配偶者のみの“老人家庭”でした。89%の方が自宅からの入院でしたが、退院後に自宅に帰れた方は66%でした。2025年問題を鑑みると益々この傾向は強まると推定されます。

緊急手術を提供することは当科の責務です。しかし以前より冬季を中心に緊急手術を受け入れることができないことが、年に数回はありました。この3年の新型コロナ禍(後半はもはや新型コロナ対策禍)によって医療逼迫がより顕著になりました。

病床は簡単には増やすことができません。地域における病床数の制限があります。それ以上に厄介なのは人的パワーの補充です。減少しつつある外科医はもとより、看護師などの医療従事者はこの地域においてはそう簡単には見つかりません。さらには来年4月から始まる【医師の働き方改革】の導入です。これは端的に言う時間外労働の制限です。いったい今後どうなるのでしょうか？

大昔、海産物資源の取得制限などなかったはずですが。しかし先人達はすでに前世紀の後半には資源の枯渇に気づき、様々な規則を設けて資源維持に努めてきたことは周知の事実です。今や医療も同じ“資源”といえるのではないのでしょうか？四半世紀この地で外科医をやってきた私の率直な感想です。



乳腺科より

ロボット支援下乳房手術

乳腺科 主任部長 福間 英祐

乳房の病気は、乳腺外来、乳腺科、乳腺外科、乳腺センターなどさまざまな呼ばれ方をしますが、乳房を専門とする部門で診察しています。しかし、2000年頃までは専門ではない外科の医師が乳房の病気を担当していました。その中で、亀田では1990年代から初代の深見部長、2代目の三品部長が乳腺科という専門科を立ち上げ、2002年には乳腺センターと呼称し(日本ではおそらく初めてです)再スタートしました。その頃から乳腺の診察は多くの分野が関わり複雑化してきたため、乳腺センターという名称変更はタイムリーでした。

実際、乳腺診療はこの20年間で多様化しています。たとえば、検診で発見した5mmの病変が癌かどうかを診断し、癌であれば適した手術をするには、がん検診の精度維持、熟練の乳腺画像診断医・病理診断医・乳腺外科医が必要です。今の亀田ではすべてのエキスパートがそろっています。鴨川は東京からも距離がある人口31,000人の市なので、乳腺診療に必要なすべての選択肢を提供する必要があります。たとえば、乳がんの種類に応じて切らない凍結療法、小さな創で行う内視鏡手術などが選択できます。熟練の形成外科医が、乳房再建も人工物再建、お腹周りや大腿から注射で吸い取った脂肪を乳房に注入して乳房の形を整える脂肪注入などの選択肢を用意しています。そうした新しい手術の一つにロボット支援下乳房手術があります。

凍結療法や内視鏡手術は亀田を中心に開発、普及してきた新たな手術ですが、ロボット支援下乳房手術はイタリアのヨーロッパがんセンター在籍中にトエスカ先生が、2015年に開始した手術です。開発の目的は内視鏡手術と同じです。従来の乳がんに対する手術は大きな切開で行っていました。しかし、

乳がんの手術後も手術前と変わらない生活を送るために、乳房の形をきれいに保つとともに、切開をできるだけ小さく目立たない場所に置くようになってきました。1995年から開始した内視鏡手術はそういった流れを先取りした治療です。誰にも気兼ねなく温泉を楽しむことは、日本の女性の楽しみの一つです。美容目的の豊胸術は当然切開にこだわります。切開は乳輪近く(傍乳輪切開といいます)か脇の切開(腋窩切開といいます)のどちらかを用いて豊胸術を行います。内視鏡手術は豊胸術で用いる腋窩切開と傍乳輪切開から乳頭乳輪を残し乳房の中身をくり抜く手術(乳頭乳輪温存乳房切除術といいます)と乳房再建、あるいは乳房温存術を行います。日本の温泉文化に適応した手術と言えます。

しかし、切開へのこだわりは国により異なります。欧米ではドレスを着て気兼ねなくパーティを楽しむ、あるいは水着でも気兼ねなくバカンスを楽しむことが大切な文化です。ドレスのデザインによっては腋窩切開が目立つことがあります。そこでトエスカ先生はブラや水着で隠れる乳房より背中よりの手を下ろせば切開が見えない場所(外側胸切開といいます)一か所から、乳頭乳輪温存乳房切除術と再建術を行うロボット支援下乳房手術を始めました。切開は3.5cmから4cmです。従来の手術と同等の安全性と術後の生活の質の改善を報告したことから、フランス、台湾、韓国、中国とロボット支援下乳房手術を始める国が増えてきました。

日本では当院で2022年4月に国内初のロボット支援下乳頭乳輪温存乳房切除と再建術を行いました。乳がん患者さまにとり、どこを切開するのが術後生活の質のために良いか、考えていただく新たな選択肢が加わりました。



スタッフ ひろば

地域医療連携室
メンバーから

今回のご紹介内容

- ・氏名
- ①部署 / 職種
- ②目玉焼きには何をかけて食べる？
- ③コンビニでよく買うものは？



蔵本 浩一

- ①診療部 疼痛・緩和ケア科 医師
- ②塩コショウ
- ③たい焼き



大川 薫

- ①診療部 在宅診療科、地域医療支援部 医師
- ②ソース(ウスター)
- ③miino(そら豆、しお味)



草薙 洋

- ①診療部 消化器外科 医師
- ②塩・コショウ
- ③缶ビール



宮地 康僚

- ①診療部 腫瘍内科 医師
- ②醤油
- ③からあげクン



渡邊 八重子

- ①看護管理部 看護師
- ②ソース時々醤油
- ③お弁当でもスイーツでも○○フェアで売り出されているもの



影山 ユウ子

- ①地域医療連携室 看護師
- ②断然、しょう油
- ③アメリカンドック



川上 由美

- ①看護管理部 看護師
- ②塩・コショウ
- ③飲み物



吉野 有美子

- ①総合相談室 看護師
- ②何もかけない
- ③飲み物



安室 修

- ①薬剤部 薬剤師
- ②塩コショウ
- ③ブラックサンダー



鎌田 喜子

- ①総合相談室 MSW
- ②しょう油
- ③おにぎり



児玉 照光

- ①総合相談室 MSW
- ②塩
- ③飲料水



長江 弘子

- ①亀田医療大学 教授
- ②断然、醤油派
- ③おでん:大根、白滝、がんも、つみれ



中村 雅代

- ①地域医療連携室 事務
- ②塩・こしょう
- ③コーヒー



林 裕子

- ①地域医療連携室 事務
- ②しょう油派
- ③コーヒー・ラテ



黒川 亜純

- ①地域医療連携室 事務
- ②しょうゆ
- ③栄養ドリンク



生稻 秋穂

- ①地域医療連携室 事務
- ②しょう油
- ③お菓子



大橋 洋子

- ①地域医療連携室 事務
- ②しょうゆ&マヨネーズ & 柚子胡椒
- ③おにぎり

亀田総合病院スタッフの マイブーム

「鴨川いちねんせい」

私は、昨年4月に新社会人となり鴨川に引っ越してきました。鴨川に来て、車社会とはまさにこのこと！と実感する毎日、スーパーも歩くと30分、なにをするにも車が必要となることに驚きました。房総スカイラインでは、動物に遭遇することもよくあると職場の上司に聞き、来たばかりのころは毎回キョロキョロして動物を探していました(笑)。そんな私の4月からの生活を少しお話ししたいと思います。

鴨川に来る前からケーキやチョコレートなど甘いものが大好きでしたが、新社会人になり仕事を終えたご褒美、今日はちょっと頑張ったからなどと理由をつけて食後のデザートを食べる頻度が増えました。新生活を始めた直後には、スーパーを探すよりも先にケーキ屋さんを探し、ステキなお店を見つけた時は、これで新生活をなんとかやっつけていける！とも思いました。休日は、

自宅内でのんびり寝て1日が終わってしまうこともあります。鴨川市内のカフェでのんびりすることもあれば、館山や木更津、茂原まで足を運び甘いものを摂取して日々幸せを感じています。

最近はドーナツにはまっています。ドーナツのお店を探しては買いに行っています。時には東京や神奈川まで行くこともありますが、1番好きなお店はクリスピークリームドーナツです。レンジで温めるとふわふわになり、口の中でとろける感覚が最高です。近くにお店があれば毎日通いたい気持ちです。クリスピークリームドーナツが安房地域に1店舗でもいいのでオープンしてほしいとふとした瞬間に思い、食べたくなります。

私が知らないだけで、安房地域にはたくさんの美味しいお店や楽しい場所があると思います。いつか一緒にお仕事をした時に、おすすめのお店や食べ物を教えていただけたら嬉しいです。

ドーナツ姫



勉強会・研修会開催のご案内 (2023年度)

1 がん看護コミュニケーションコース研修

【日時】 1日目: 2023年6月23日(金)8時~17時

2日目: 2023年7月7日(金)8時~17時

【会場】 亀田総合病院B棟7階看護研修室(予定)

【対象】 がん看護経験年数2年目以上でがん看護に興味のある看護師

※アンケートに協力できる方・2日間参加できる方に限る

【申込】 QRコードもしくはURLよりお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/XiPy1fVxQh>

【締切】 2023年6月9日(金)



2. がん看護基礎コース研修

【日時】 1日目: 2023年11月24日(金)8時~17時30分

2日目: 2023年12月1日(金)8時~17時30分

【会場】 亀田総合病院B棟7階看護研修室(予定)

【対象】 がん看護に興味のある看護師
もしくは他職種(経験年数1年目でも可)
※アンケートに協力できる方に限る

* 詳細は追ってご連絡いたします。

第12回 地域医療連携交流会 『介護施設の看取り』

【日程】 2023年8月9日(水)18時30分~20時30分
(開場18時)

【会場】 亀田総合病院Kタワー13階ホライゾンホール

【講演】 NPO法人フローラファミリー
館山ケアセンター 夢くらぶ
特別養護老人ホーム めぐみの里

【対象】 医療機関及び施設の医療従事者・コメディカル

【締切】 2023年7月29日(土)

【申込】 ① フォームからの申込の場合は以下のURL
もしくはQRコードよりお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/bGG8bSe6d7>

② 同封の申込用紙にご記入
いただきFAXをお願いいたします。



報告 2022年度開催勉強会・研修会

1. 緩和ケア研修会

2022年4月2日(土) 参加者:32名

2. がん看護コミュニケーションコース研修

1日目:2022年6月25日(土) 参加者:19名

2日目:2022年7月9日(土) 参加者:16名

3. がん看護基礎コース研修

1日目:2022年11月26日(土) 参加者:27名

2日目:2022年12月3日(土) 参加者:25名

4. ELNEC-J ちばコアカリキュラム 看護師教育プログラム

1日目:2023年1月21日(土) 参加者:13名

2日目:2023年2月4日(土) 参加者:13名

5. (一社)安房薬剤師会薬業会研修会

2022年9月29日(木)

神経障害性疼痛治療について

~薬剤師の立場から~

演者:医療法人鉄蕉会 医療管理本部

薬剤管理部/亀田総合病院薬剤部

薬剤部長 舟越亮寛